

◆令和4年1月～6月事故の状況◆

【事故の特徴】

☆事故件数は「**44件**」発生しており、過去5年平均に比べ17件程度多い状況。

☆労働災害が「**22件**」発生しており、過去5年平均に比べ8件増加。

☆休業4日以上労働災害が「**2件**」発生し、発生率は9%と昨年に比べ減少。

◇ **熱中症、新型コロナウイルス対策の徹底をお願いします。**

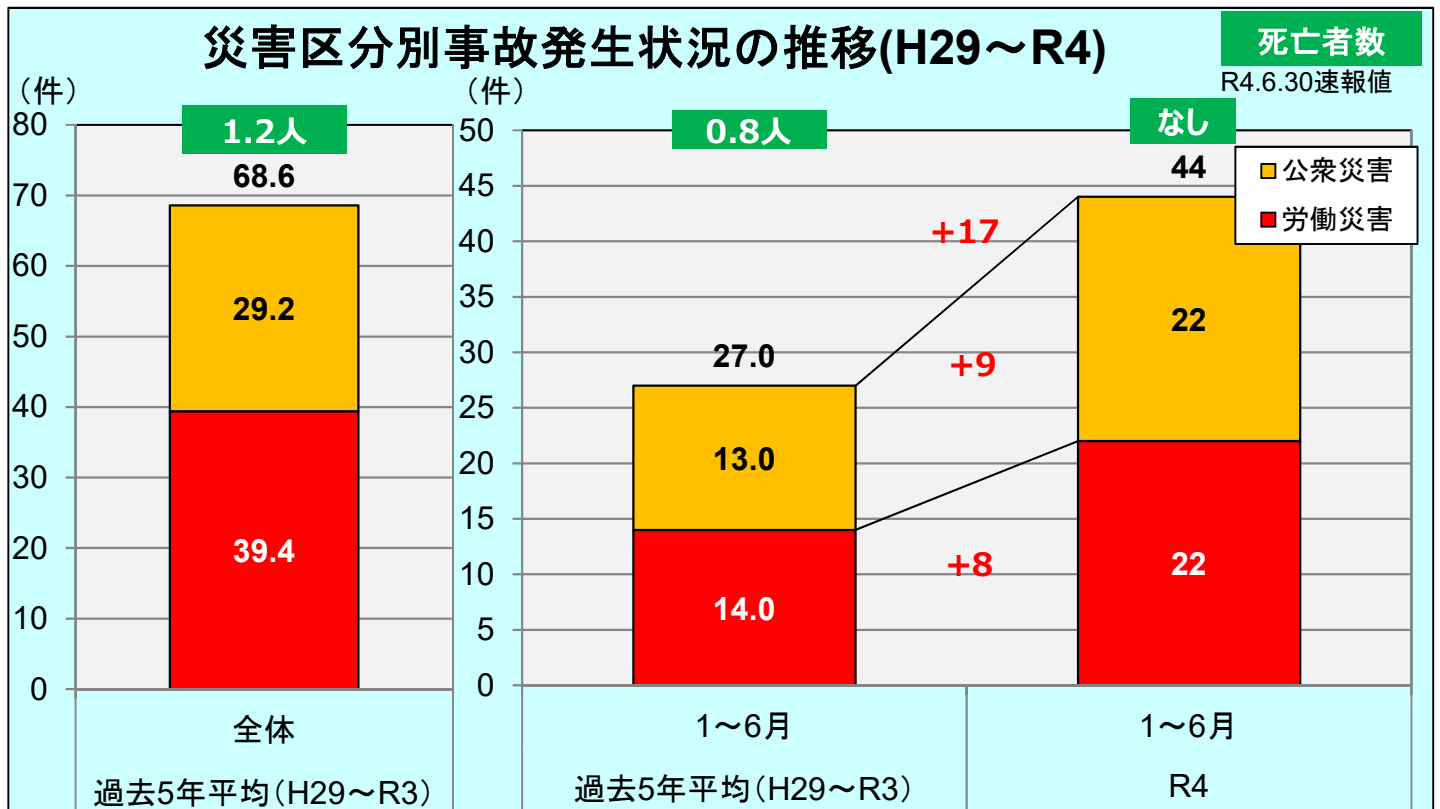
◇ **台風前に現場の点検、準備・対策をお願いします。**

1. 工事事故の発生状況

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

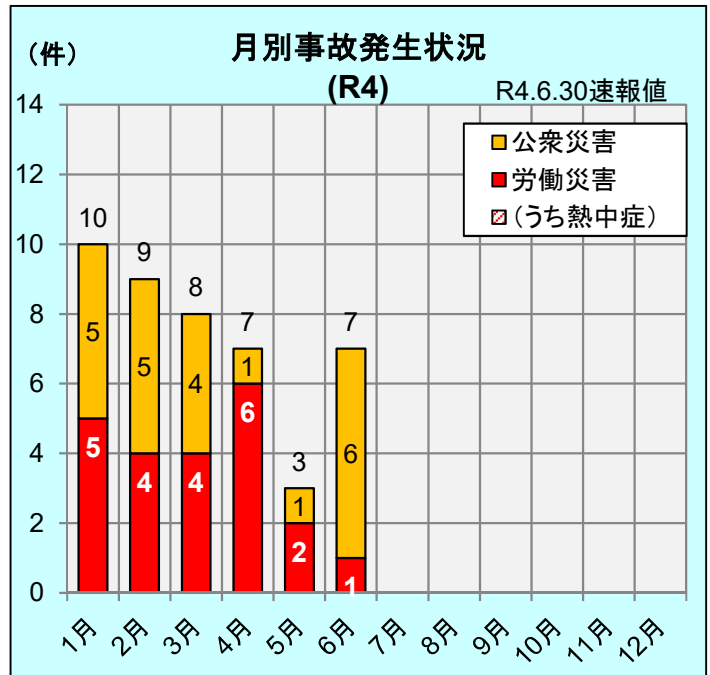
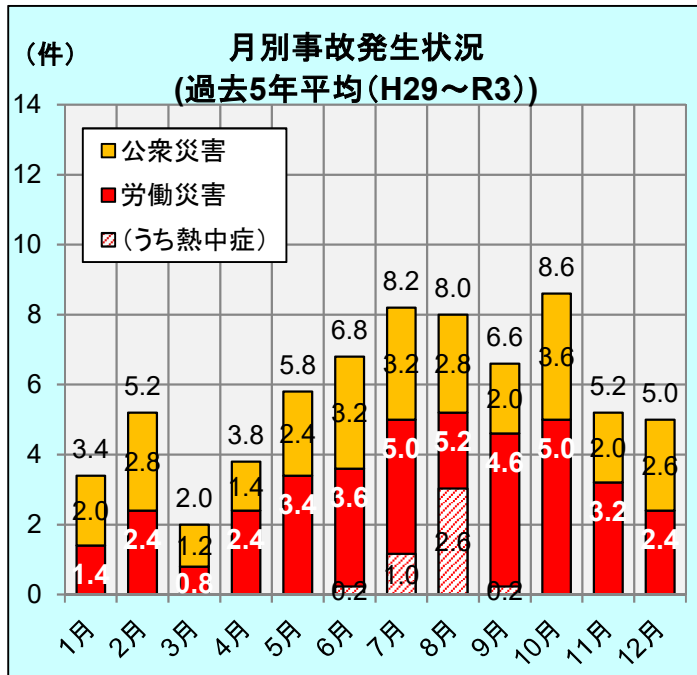
1) 過去5年平均との比較

1月から6月までの事故件数は44件で過去5年平均と比較すると17件多い状況です。労働災害は22件発生しており、過去5年平均と比較して8件程度増加しています。



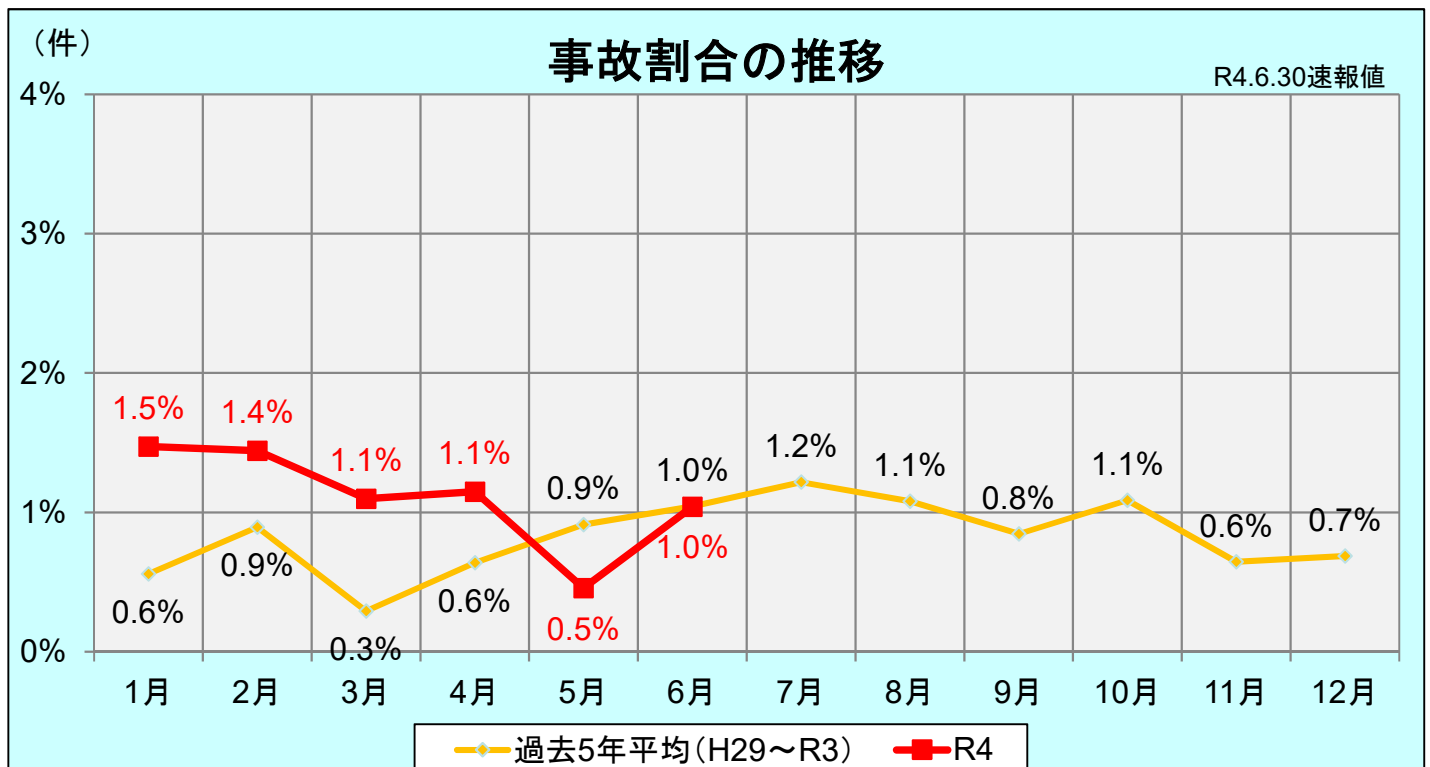
2) 月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、5月以外の全ての月で増加しています。特に1～3月の増加が多い状況です。



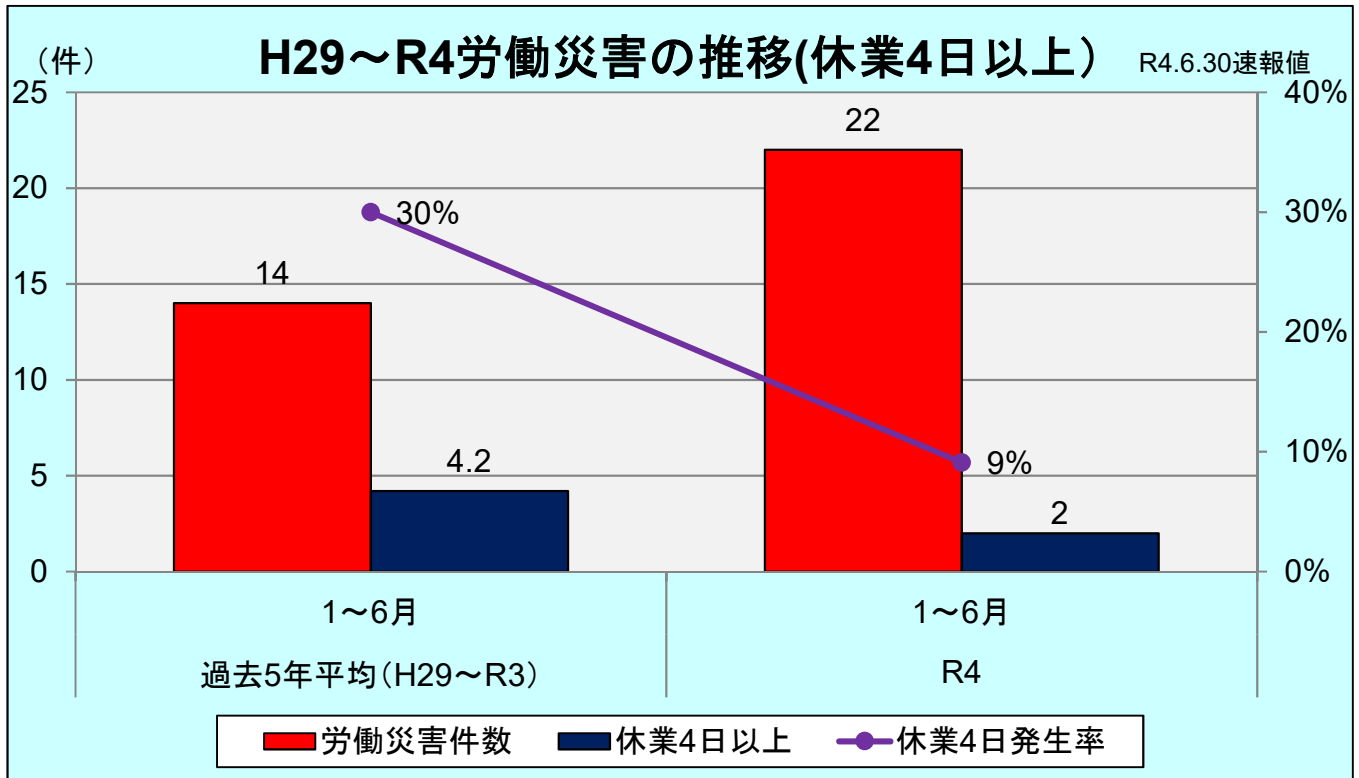
3) 事故割合

施工中の発生割合を、過去5年平均と比較すると、1～4月の事故割合が増加しています。



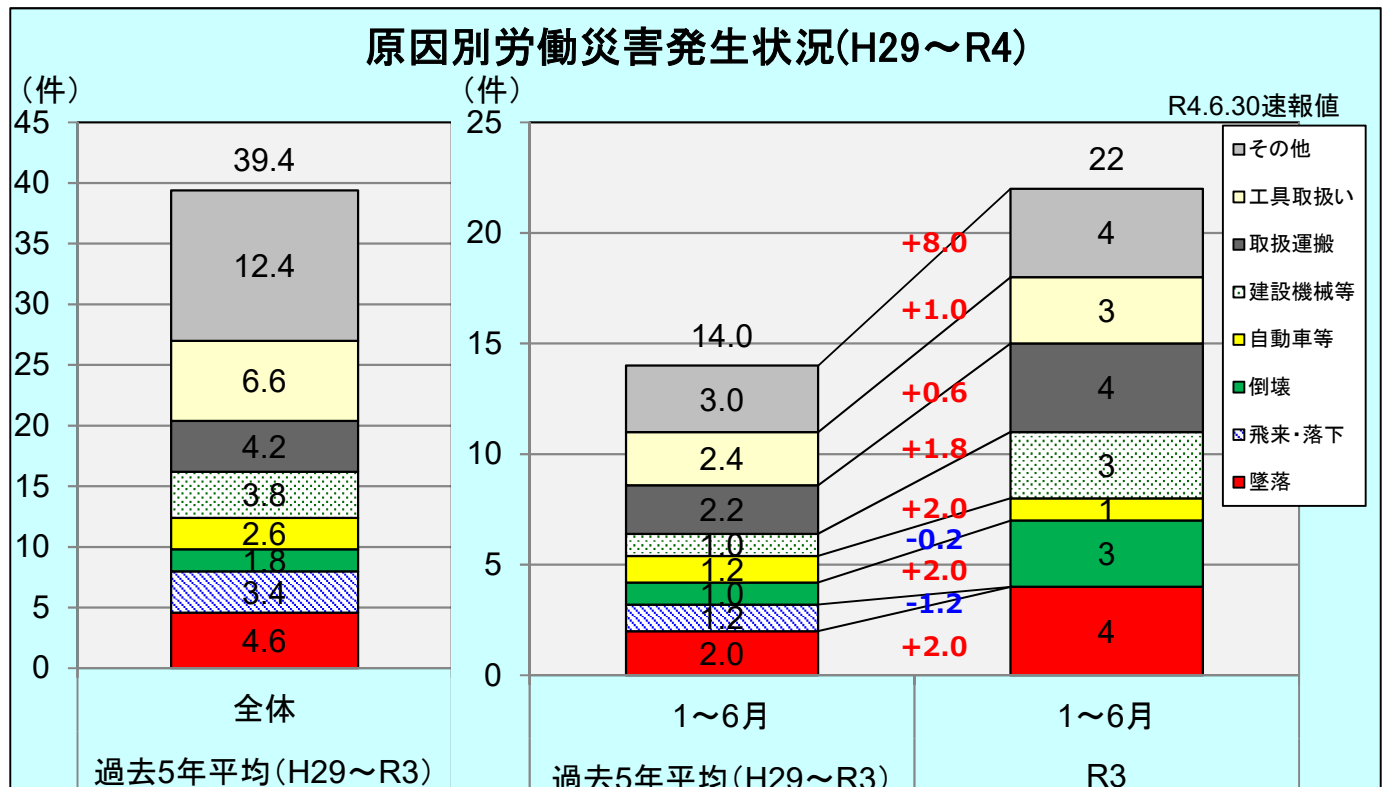
4) 休業4日以上 の事故発生状況

R4の労働災害は22件のうち休業4日以上 の事故は2件発生しています。過去5年平均と比べると労働災害は増加しているものの、休業4日以上 の事故の割合は30%から9%に減少しています。



5) 労働災害の原因別事故発生件数

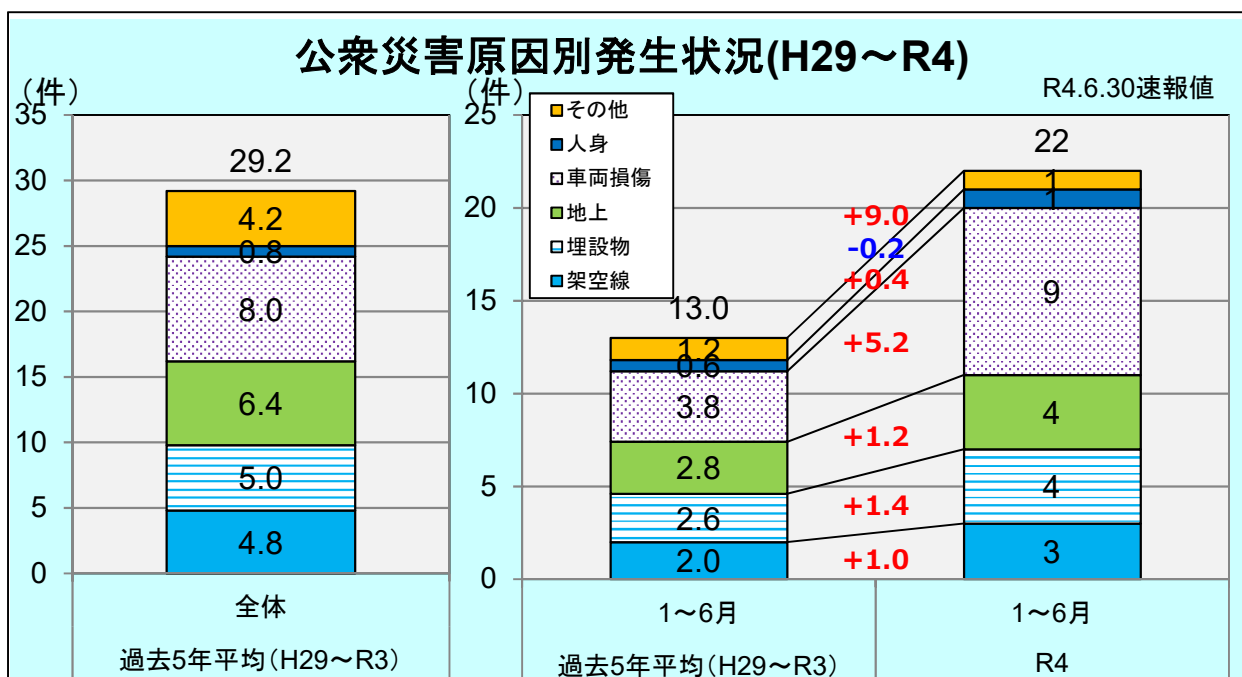
R4の6月までの労働災害は22件で過去5年平均と比べ8件増加しています。原因別に見ても、過去5年平均と比べると全体的に増加しているが、特に、墜落、倒壊、建設機械等の事故が増加しています。



※その他:土砂崩落・落盤・電気・爆発・港湾・その他事故等

6) 公衆災害の原因別発生状況

R4の6月までの公衆災害は22件で過去5年平均と比べ、9件増加しています。過去5年平均と比べると、車両損傷が大幅に増加しています。



※その他:室内・壁内損傷、水質汚濁、その他事故等

建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・対象工事は、以下の通りです。
- ・登録の際は、主任監督員・受注者への事故番号、パスワードを主任監督員宛てに技術検査官より通知します。
- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。
- ・登録する対象工事

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861